

教科	理科	単位数	2単位	対象	1年次	選択群			
使用教科書	新編 化学基礎 (数研出版)			副教材等	新課程 新編 化学基礎準拠サポートノート	履修 <input checked="" type="checkbox"/> 履修・選択			
授業の概要			学習の到達目標			履修の条件・進路			
物質の成り立ちや物質の変化に関する基本的な内容を学習します。1学期は基礎として元素記号、化学式、原子の電子配置を学び、化学結合による性質の違いなどを学習します。2学期からは、化学反応式が書けることや酸・塩基の性質、酸化還元反応を理解することを目標に学習します。			<ul style="list-style-type: none"> <li>元素記号や化学式を覚えて、イオンの生成や化学結合を理解する。</li> <li>化学反応式を書くことができ、量的関係を理解する。</li> <li>酸・塩基の性質や酸化還元反応を理解し、人間生活との関わりを把握する。</li> </ul>			・1年次生全員が履修します。			
学年間の計画	月	単元名	項目	学習内容					
	4月 5月 6月	第1編 物質の構成と化学結合	第1章 物質の構成	1 混合物と純物質	2 物質とその成分	3 物質の三態と熱運動			
			第2章 物質の構成粒子	1 原子とその構造	2 イオン	3 元素の周期表			
			第3章 粒子の結合	1 イオン結合とイオンからなる物質	2 分子と共有結合	3 共有結合の結晶	4 金属結合と金属		
	9月 10月 11月	第2編 物質の変化	第1章 物質と化学反応式	1 原子量・分子量・式量	2 物質質量	3 溶液の濃度	4 化学反応式と物質質量	5 第1章のまとめ・演習問題	
			第2章 酸と塩基の反応	1 酸・塩基	2 水の電離と水溶液のpH	3 中和反応と塩	4 中和滴定	5 第2章のまとめ・演習問題	
			第3章 酸化還元反応	1 酸化と還元	2 酸化剤と還元剤	3 金属の酸化還元反応	4 酸化還元反応の利用	5 電池・金属の精錬	
	12月 1月 2月 3月				1 酸化と還元	2 酸化剤と還元剤	3 金属の酸化還元反応	4 酸化還元反応の利用	5 電池・金属の精錬
					1 酸化と還元	2 酸化剤と還元剤	3 金属の酸化還元反応	4 酸化還元反応の利用	5 電池・金属の精錬
					1 酸化と還元	2 酸化剤と還元剤	3 金属の酸化還元反応	4 酸化還元反応の利用	5 電池・金属の精錬
	学習方法	<p>【予習】 教科書の本文をよく読み、図や写真の内容を把握しましょう。</p> <p>【授業】 説明をよく聞き、ノートをしっかりとまとめましょう。練習問題には意欲的に取り組み、理解度を確認しましょう。</p> <p>【復習】 ノートで授業の内容を確認しましょう。課題がある場合にはその日のうちに取り組みましょう。</p>							
	評価の観点・評価規準・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の構造や化学結合から、その特徴を正しく理解できる。</li> <li>化学反応式が書け、酸化還元反応を正しく理解できる。</li> <li>積極的に観察や実験に取り組むことができる。</li> <li>実験機器を正確に取り扱うことができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>物質とその変化の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>原子・分子などの物質の成り立ち、酸・塩基の性質を酸化還元反応などに関心を持ち、積極的に学習する。</li> <li>課題や小テストに意欲的に取り組む。</li> </ul>					
評価方法		第1・2学期	第3学期	年度末					
※ 上記の観点を基に、各学期とも評価する。 A：主に考查による 観点別評価 B：主に授業等の活動による観点別評価		A：7割 B：3割 平常点は、授業態度、小テスト、提出物の内容、課題の取り組み状況等	A：7割 B：3割 平常点は、授業態度、小テスト、提出物の内容、課題の取り組み状況等	1・2・3学期の平均					
備考	理数系、医療系大学及び専門学校へ進学を希望する人は、2年次以降で履修する科目の基礎となります。内容をしっかりと理解できるように努めましょう。								